



PRESS RELEASE

岡山大学記者クラブ, 文部科学記者会, 科学記者会,
農林水産省 御中

令和 7 年 5 月 12 日
岡 山 大 学
中 森 農 産 株 式 会 社

ダイズの生産向上へ大学と農業法人がタッグ ー新たな栽培法や品種育成へー

◆発表のポイント

- ・岡山大学と埼玉県加須市に本社を置く農業法人・中森農産株式会社が、共同研究契約を締結しました。
- ・生産現場におけるニーズの迅速な吸い上げと、大学側の新技術の直接的な実証が可能になります。
- ・地球温暖化に対応した新たなダイズ栽培法や新品種の開発が加速されることが期待されています。

岡山大学学術研究院環境生命自然科学学域の田中佑准教授の研究チームと中森農産株式会社（代表取締役 中森 剛志、以下「中森農産」）は、ダイズの新たな栽培法や品種の育成を目指し、共同研究契約を締結しました。

ダイズは高い栄養価と優れた加工適性によって、多用途に利用される重要作物です。一方で、ダイズは干ばつや洪水、病虫害に弱いため生産が不安定であり、今後予想される温暖化の影響を受けやすい作物であると考えられます。農家の大規模化が進む中で、大面積のダイズ圃場を効率的に管理する栽培法や、ストレスに強い多収品種の開発が求められています。

今回、大学と生産者が直接共同研究契約を締結したことによって、上記のようなさまざまな栽培現場のニーズを迅速に吸い上げ、大学が開発した新技術をすぐさま現場に還元することができるようになりました。我が国における農学研究の新たなモデルケースにもなりうると考えられます。今後は、温暖化を見据えたダイズの栽培時期の移動や、それに適した多収品種の開発を加速し、ダイズ生産の向上を目指します。

◆研究者からのひとこと

ダイズはアジア原産で、私達の生活に欠かせない重要な作物ですが、国内のダイズ生産を取り巻く状況は厳しさを増しています。この状況を打破するには、アカデミアと生産者がより密接に連携し、互いの強みを生かしていく必要があります。本プロジェクトがそのきっかけの一つになることを願っています。



田中准教授



PRESS RELEASE

■発表内容

<現状>

ダイズは高い栄養価と優れた加工適性によって、多くの用途に用いられる重要作物です。しかしわが国において、ダイズの農地面積あたりの収量が長年停滞しており、食用ダイズの自給率も 20% 強にとどまっていることが課題となっています。その原因はいくつかありますが、ダイズが環境ストレス（高温・洪水・干ばつ等）や病虫害の影響を受け、本来の生産力を発揮できていないことも一因です。今後、地球温暖化の進行とともに、これらの要因による収量低下がより顕在化する恐れがあります。一方、多数の圃場を保有する大規模な営農法人においては、作業量の集中などにより全ての圃場を適切に栽培管理することが困難なケースがあります。これらさまざまな生産性阻害要因を克服しつつ、ダイズを安定的に生産するための新たな栽培戦略や品種が求められており、その実現のためには生産現場からのニーズを速やかに吸い上げ、アカデミックな研究成果を生産現場に速やかに還元する仕組みが必要です。

<研究内容>

岡山大学の田中准教授らの研究チームと中森農産は、ダイズの新たな栽培法や品種の育成を目指し、共同研究契約を締結しました。田中准教授らのチームでは、ダイズの収量ポテンシャル向上や、環境ストレス回避に関する研究を継続してきました。中森農産は埼玉県を中心に約 330ha に及ぶ圃場を管理栽培する、わが国を代表する大規模営農法人の一つです。共同研究では、通常と比べ 2 か月ほど播種時期を前倒しした新たな栽培体系（春ダイズ）やそれに適した品種選抜などをテーマとします。これにより、稲など他作物との競合による作業効率の低下を避けることが可能となります。さらに重要な生育時期に高温を回避し種々の環境ストレスの軽減が期待されるなど、地球温暖化に適応した新たなダイズ栽培体系の確立につながる可能性があります。R7 年度から中森農産の所有する圃場において、約 1.5ha 規模で春ダイズの生産実証試験を行うとともに、岡山大学においても新たなダイズ品種の育成を加速する予定です。

<社会的な意義>

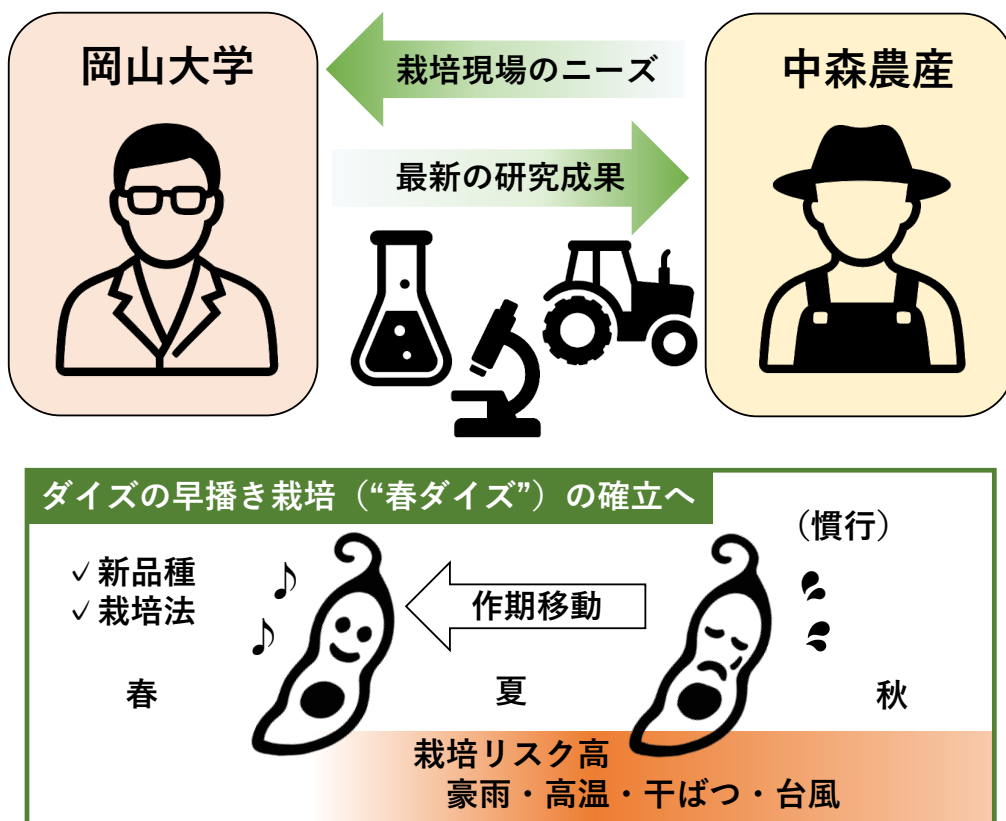
ダイズはわが国において重要な作物であり、本研究は将来的にその生産性ひいては自給率の向上につながる可能性があります。さらに、大学（アカデミック）と営農法人（生産者）が作物の生産性向上をターゲットとして直接共同研究を推進するという例はほとんどなく、今後の農業研究における新たなモデルケースとなる可能性を秘めています。



岡山大学
OKAYAMA UNIVERSITY

Nakamori

PRESS RELEASE



<お問い合わせ>

岡山大学 学術研究院 環境生命自然科学学域
准教授 田中 佑
（電話番号）086-251-8319

中森農産株式会社 管理部
（電話番号）0480-77-5907



岡山大学
OKAYAMA UNIVERSITY



岡山大学は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。